「令和8年度 大学スポーツ総合支援事業」企画提案書（事業概要資料）

①学生主体の運営向上事業［運営推進型］

大学名	帝京大学

実施計画名	学生主体による帝京スポーツ価値創出事業　―ホームゲームを核とした応援文化醸成と持続的運営モデルの構築―
事業概要	本事業は、本学のスポーツ資源と人的資源を活用し、学生主体の企画・運営によりホームゲームおよび関連イベントを実施する。ラグビーおよび女子バスケットボールのホームゲームを核とし、「女性アスリート応援Day」や事前の体験型イベントを連動することで、学生・教職員が日常的にスポーツに触れる機会を創出する。これにより、「体験」から「観戦」への導線を構築し、大学スポーツへの関心喚起と応援文化の醸成を図る。さらに、学生主体の運営体制のもと、教職員が伴走支援を行い、企画力・広報力等の実践的スキルを育成し、スポーツを「ささえる」人材の育成と持続可能な運営モデルの確立を目指す。

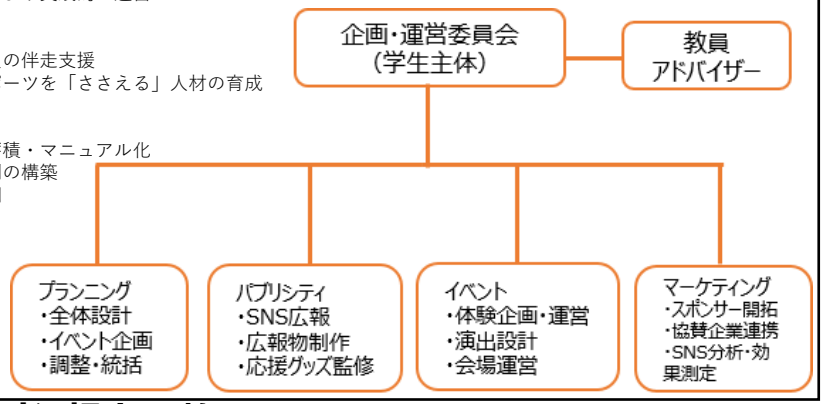
■学生を中心とした企画・運営委員会の概要

●全体構成
学生主体の企画・運営委員会。企画立案から広報、運営までを一体的に推進

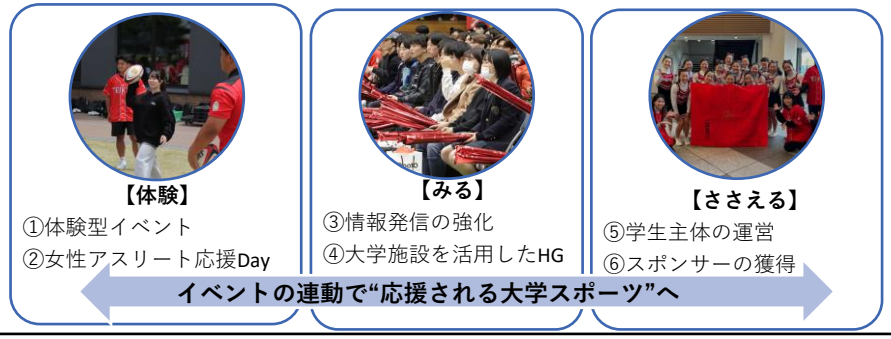
●機能別に4チームで構成（プランニング / パブリシティ/イベント /マーケティング）
・役割分担と連携により実践的に運営

●体制の特徴
・学生主体＋教職員の伴走支援
・実践を通じたスポーツを「ささえる」人材の育成

●成果・展開
・運営ノウハウの蓄積・マニュアル化
・継続的な運営体制の構築
・他大学への横展開



■「応援される大学スポーツ」に向けた施策



■主な参加者・想定人数

区分	内容	人数
企画運営	企画・運営委員会（学生）	30名
当日運営	帝京大学学生スタッフ	30名
参加者（運動部以外）	帝京大学　学生・教職員	300名
参加者（運動部）	帝京大学ラグビー部、女子バスケ部　他	200名
参加者（その他）	近隣住民	30名

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず関連する大学や団体等との連携体制も示すこと）

